

編集後記

希望と期待に胸膨らませた春も束の間、多忙な現場に慣れ日々の業務をこなすにつれ、複雑な人間関係に疲れを感じ始めた方もおられるのではないのでしょうか。そうです、組織というものは元来、ひとりではできないことを皆と力を合わせて行うために作られた社会システムでありながら、いつの間にか組織自体の存続が個よりも優先されてしまうという側面を持っています。そんな悩めるあなたに、3つのメッセージをお送りします。

①批判を気にしてはいけません。特に、新しいことをやろうとする時は、です。もっと正確に言うなら、批判のうち正当な指摘には対応し、どう考えても不当な言掛りであれば無視してください。怒りが爆発しそうになった時には、アンガーマネジメントの「6秒ルール」が多少は役に立ちます。個人的には「出る杭は打たれ強い」と3回唱えています。もちろん目立つことをしなければ誰からも批判を受けることはありません。しかし、土のなかで腐って生涯を終える、そんな一生であなたは良いのですか？・・・そして成果が世に出た暁には、きっと日本社会特有の、鮮やかな掌返しを体験できることでしょう。

②アイデアを無闇に人に話してはいけません。重要なものであればなおさらです。あなたのアイデアを、さも自分が考え出したかのように発表する人達が、周囲に居るかも知れません。しかし話された言葉だけでは、あなたが考えたものであるという証拠がないのです。そしてそういう人達は、大抵上司に取り入るのが上手く、ヒエラルキーの上の方におり、都合の悪いことは記憶していないために自分達のアイデアだと信じ込んでいます。あなたが推敲しながら書いた論文草稿が、あなたの立場を守ってくれる一番の味方です。

③決して自分を傷つけてはいけません。そんな気分に戻ってしまったあなたは、すでに精神的に危険な状態にありますから、決してそれ以上頑張らず、何も考えず、すぐに逃げてください。自分を守ることが最優先事項です。いったん安全な場所に落ち着いてから、あらためて信用できる仲間とともに、ポジティブな言葉の力で世界を変えましょう。尖った個性と気骨溢れるご投稿を、心よりお待ちしております。

(木下真幸子)

〈編集委員〉

編集委員長	小野寺 理	編集副委員長	三澤 園子		
編集幹事	石浦 浩之	漆谷 真	杉江 和馬		
編集委員	今井 富裕	木下 真幸子	古賀 政利	櫻井 圭太	柴田 護
下畑 享良	鈴木 匡子	辻野 彰	坪井 義夫	中嶋 秀人	新野 正明

「臨床神経学」	第63巻 第7号	2023年7月1日発行	
編集者	東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル		一般社団法人日本神経学会
発行者	東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル		西山 和利
印刷所	〔郵便番号 602-8048〕京都市上京区下立売通小川東入		中西印刷株式会社

発行所 〔郵便番号 113-0034〕東京都文京区湯島二丁目 31 番 21 号 一丸ビル
日本神経学会

郵便振替口座 東京 00120-0-12550

TEL. 03-3815-1080 FAX. 03-3815-1931

ホームページアドレス：<http://www.neurology-jp.org/>